

ローラーパテ

JIS A 6914 適合品

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	N07012
放散等級	F☆☆☆☆

ローラーパテとは……

当社が業界に先駆けて開発致しました、寒冷紗総パテがエアレススプレーで出来る『スプレーパテ』は好評をいただきました。しかし、養生ができない現場がある、面積が少ないのでエアレススプレーを使うまでも無いがへラでは作業がしにくい。

ローラーで塗れて、広い面積であればエアレススプレーで塗装もできる。そのようなパテが欲しい…。と言う声に答え開発致しましたのが『ローラーパテ』です。

特 長

- ① ローラーで寒冷紗総パテができます。
- ② ローラーで塗装できて寒冷紗の目をほぼ3回で隠します。
- ③ ローラー塗りなので養生が要らない。
- ④ 各種上塗りの密着が良い。
- ⑤ 垂れが無く、レベリング性が良い。
- ⑥ 乾燥が早い。
- ⑦ 耐水性が良い。
- ⑧ 研磨性が良い。

用 途

寒冷紗総パテ、板の目つぶし

荷 姿

色：白 容器及び重量：20kg入り

塗装工程

工程名	使用材料	希 釈	塗布量(g/m ²)	施工間隔	回 数
下地処理	寒冷紗張り(下張りの無い物を張るほうがよい。)				
パテ付け	ローラーパテ	水道水 10~20%	250~300	3時間	1
研 磨	毛羽立が出た場合、研磨紙#180				
パテ付け	ローラーパテ	水道水 10~20%	200~300	3時間	2~3
上 塗	エマルジョン塗料を塗る				

※ローラーパテのローラー目が気になる場合は、研磨紙#180~#240で研磨して下さい。

ローラーパテ品質規格

項 目	規 格	試 験 方 法
容器の中での状態	塊がなくて均一であること	JIS K 5669 5.3
作 業 性	ローラーにて塗装に支障がないこと	
乾 燥 時 間	3時間以内	JIS K 5669 5.5
研 磨 容 易 性	空研ぎの際に見本品に比べ研磨が容易であること	JIS K 5669 5.6
	1.2 g /100回 0.26mm/100回	当社規格(S-42)
上 塗 り 容 易 性	JIS K 5663 2種を上塗した時、支障がないこと	JIS K 5669 5.7
加 熱 残 分	60%以上 (67±2%)	JIS K 5669 5.10
付 着 強 さ	5 kgf/cm ² 以上	JIS K 5669 5.11
低 温 安 定 性	-5±1℃で4時間冷やしても作業性に支障がないこと	JIS K 5669 5.12

注 意

- ローラーパテは希釈するほどレベリング性は良くなりますが、20%までの希釈にした方が経済的です。
- 乾燥不十分で、ローラーパテを塗り重ねますと寒冷紗の部分がヤセます。
- 内面塗装缶を使用していますので、缶の中でのマザール等での攪拌は、注意してください。
(内面塗装が剥げ塗料に混ざります。)
- 水系ですので5℃以下での使用は避けてください。
- 薄めた材料は缶に戻さないでください。
- 残った材料は密栓し、冷暗所に保管してください。



ナショナル工業株式会社

本社 郵便番号 761-04
工場 高松市小村町54の7
電話番号(0878)48-2323
F A X (0878)48-2700